

各支部協会のあゆみ

朝日町ソフトボール協会



この度は、富山県ソフトボール協会創立70周年
おめでとうございます。

協会設立年月日

昭和54年4月10日

発足当時の役員

会 長	草島 利夫	
副 会 長	氷見徳太郎	河内 啓
〃	更田 郁男	
理 事 長	谷 勝由	
審 判 長	佐渡 勇	
技術部長	永口 了	
事務局長	岡本 輝夫	

協会の現況

2009年からは、町チーム登録数が減少し協会主催の事業は無くなった、共催事業として下新川郡協会主催の郡民体育大会、郡選手権大会を主管事業として実施。又、他協会等と連携して実施している三市一郡選抜大会の協力、富山県民体育大会の協力その他の事業 町体育協会主催である、地区対抗ソフトボール大会を主管事業として実施している。

登 録 数

町・県登録チーム 3チーム(うち、レディース1)
登録審判員 12名

登録記録員 3名

現在の役員 (令和元年)

会 長	長崎 智子	
副 会 長	秋山 秀樹	
顧 問	谷 勝由	藤塚 清
理 事 長	秋山 秀樹	
副理事長	広瀬 鉄一	高橋 侯雅
審 判 長	高橋 侯雅	
副審判長	小島 勝	
事務局長	大菅 隆夫	
事務局次長	水野 文雄	
〃	脇山真佐美	
監 事	扇谷 俊成	



第71回県民体育大会 壮年



入善町ソフトボール協会



入善町ソフトボール協会

協会のあゆみ

昭和48年12月13日 入善町ソフトボール協会設立
会長 上野 幸一氏 就任
昭和54年度
協会 チーム登録制を採用
昭和56年度
会長 若島 信行氏 就任
6月6日 下新川郡ソフトボール協会 設立
下新川郡のソフトボールの普及と技術向上を目指す
昭和57年度
11月14日 協会創立10周年記念式典を挙行
昭和59年度
5月 日本男子リーグ入善大会を開催
平成4年度
8月 中日本総合ソフトボール選手権大会を開催
12月6日 協会設立20周年記念式典を挙行
平成14年度
8月 東日本大学選手権大会を開催
11月30日 協会創立30周年記念式典を挙行
平成20年度
会長 上田 英俊氏 就任
平成23年度
県民体育大会ソフトボール競技(新川地区)開催
平成24年度
協会創立40周年
北信越壮年ソフトボール大会開催
平成25年度
9月 北信越総合男子・ハイシニア大会を開催
平成30年度
県民体育大会ソフトボール競技(新川地区)開催
2022年度 (令和3年)
協会創立50周年を迎える

令和元年度

協会役員

会長	上田 英俊
副会長	四月朔日秀典
理事長	青木 実
副理事長	塚田 隆明 中易 敏宣

審判長	宝田 重信 (副理事長)
副審判長	柚木 栄 佐竹 紀雄
事務局長	鍋嶋 裕

年間開催大会

入善町協会開催

入善町ソフトボール選手権大会(春季・秋季)
入善町壮年ソフトボール大会・選手権(4月・7月)
入善町長杯ソフトボール大会(7月ナイター)
入善町体ソフトボール大会競技の部(7月)
松井カップ杯ソフトボール大会(冠大会)



松井カップ杯

下新川郡協会開催

下新川郡体ソフトボール大会競技の部(6月)
下新川郡ソフトボール選手権大会(8月)
三市一郡 選抜ソフトボール大会(10月)
・滑川市、魚津市、黒部市、下新川郡 各協会

県協会開催

全日本小学生大会 富山県予選(5月 入善町)



富山県小学生秋季大会で準優勝の入善ジュニア

協会の課題と今後の活動

- ・2022年協会創立50周年を迎える記念式典、行事などの計画、策定
- ・労働環境の変化とスポーツ人口の減少により登録チームの参加が減少、協会の収益が悪化、収支の改善が必要
地域型大会の継続と参加チームの増加を目指す
- ・ソフトボール人口の底辺拡大と地域の活性化
町内中学校のソフトボール部廃止による部員の環境変化に対する協会の支援

黒部市ソフトボール協会



昭和51年7月に設立した、当市協会ですが平成18年度には、宇奈月町と合併により新たにスタートしました。チームの市登録数は17で(県登録チーム7)ここ数年間は大きな変更が無い状態です。

但し協会設立当初より少年チームが無く、女性チームは10チーム記録したが現在、ドルフィンの1チームと寂しい限りです。

当市はAクラスとBクラスに分け、3大会を実施し、それぞれが予選し上位4によるトーナメント方式で、A優勝戦チームを県民体育大会や三市一郡大会に推薦しております。

大会運営には協会とチームより審判員を指定(登録チームには3名の審判資格者を有すること)して運営しており、一昨年より記録体制を強化し始めました。

現在は新天クラブが他を寄せ付けず、断トツの力を示して県民体育大会や三市一郡大会で、優勝してしているが他チームの奮起をのぞむところです。大会運営面では協会審判員の高齢化が進み、継続運営にも若手化に思案中です。

黒部市にて全国レベルの大会開催歴(22回)

平成22年～令和元年開催主要大会

- ・平成23年10月 日本男子東日本リーグ第3節
- ・平成25年10月 日本女子リーグ1部第9節



北京五輪金メダリスト上野一峰バッテリーと始球式小学生

・令和元年10月日本女子リーグ1部第8節



スコアボードがオーロラビジョンに
リニューアルされた宮野野球場

近年の役員変遷

能村 常穂、富山 政之、舘野 忠雄、
田中 信幸、が他界退職
新酒 賢二が顧問
栃沢 光雄が参与

現行役員

会 長	小柳 勇人
副 会 長	平井 洋三、能登 泰幸、 斉田 進、山口 孝司
理 事 長	川端 秀昭
副理事長	笹原日出男、丸山 幹男、 前本 浩吉、宮ヶ丁 治、 開沢 憲三
事務局長	吉田 博典
事務局次	増田 正二

魚津市ソフトボール協会



昭和51年に設立した当協会は、「競技人口の減少という現状を打破するため、各種大会の積極的な開催を通じてソフトボールの魅力を伝え競技スポーツ、生涯スポーツの両面から一層の振興、発展につとめる。」の活動方針を掲げ、ナイターリーグなどの主要大会を開催してます。近年は、一般男子Aクラスに登録するチーム同士で、県内大会の決勝戦を戦うこともあり、このクラスの競技力は誇れるものです。

今後は、幅広い競技人口の増加を目指してまいります。

設 立 昭和51年2月3日

歴代役員

会 長	山根 毅	昭和51年～昭和62年
	浦田 吟夫	昭和63年～平成8年
	稲盛 嘉男	平成10年～平成15年
	種田 龍紀	平成16年～現在
理事長	金物 正男	昭和51年～昭和56年
	油本 実	昭和57年～昭和57年
	稲盛 嘉男	昭和63年～平成7年
	稗田 信一	平成8年～平成17年
	二川 正博	平成18年～平成27年
	山沢 隆弘	平成28年～現在

登 録（令和元年度）

チ ャ ム	一般男子	19チーム
	レディース	2チーム
公認審判員		88名
公式記録員		21名

沿 革

平成17年5月20日	日本女子リーグ2部第2節
平成17年11月26日	協会設立30周年記念式典
平成21年9月5日	日本女子リーグ1部第6節
平成23年9月24	

・25日 第24回北信越小学生男女大会

平成29年9月23・24日

第14回北信越一般男子大会

第14回北信越エルデスト大会



令和元年度役員

会 長	種田 龍紀			
副 会 長	稗田 信一	松本 明夫	二川 正博	
理 事 長	山沢 隆弘			
副理事長	山本 秀夫	佐渡 昭則	吉川与志雄	
常任理事	関口 晴樹	小林 富夫	中田 隆	
	朝野 悦男	山根 裕治	生津江康浩	
	篠原 和夫	谷口 雅司	山田 貴司	
事務局長	竹 幹雄			
事務局次長	山田 貴司			

滑川市ソフトボール協会



平成30年2月10日滑川市ソフトボール協会設立60周年記念式典を県協会役員をはじめ、多くの方々にご出席をいただき、盛大なうちに祝賀会を開催いたしました。

これに合わせて、記念誌も発行いたしました。

このあとの10年は当協会登録チーム数減少など厳しい状況の中協会役員団結して取り組まなければならないと思いをあらたにしております。



この10年、当協会の主催大会はもちろん、県大会・北信越大会・三市一郡選抜大会など、数多く開催してきました。

5年ぶりに北信越実年・エルダー大会(令和元年7月6日～7日)を、上市協会さん・県協会・支部協会スタッフ一同のご協力で開催することができました。



役員

会長	脇坂 章夫	
副会長	笠井 一美	
理事長	山岸 秋雄	
副理事長	久保 史朗	山口 哲央
副理事長	按田 修	
審判長	山口 哲央	
事務局長	高野 道子	
事務局次長	藤縄 博	



上市町ソフトボール協会



昭和37年当時から、株式会社細川機業では、職場対抗ソフトボール大会が盛んに行われていた。試合開始にあたり当然審判員が必要であり、当機業に勤務していた藤井楨男氏が、昭和37年8月10日に公認審判員第3種を取得した。

これを機に上市町教育委員会、町体育協会が主催し、昭和51年7月に第1回勤労者夜間ソフトボール大会が上市中央小学校グラウンドで、28チーム参加によるトーナメント戦が開催された。

上市町ソフトボール連盟としての形式をとるにあたり、昭和52年3月23日午後7時から上市公民館において、故酒井喜代吉会長、藤井楨男理事長以下各役員が選出され「上市町ソフトボール連盟」は発足した。その後、ルール説明会、公認審判員、公式記録員の養成及び技術の向上、普及啓発を重点目標におき、協力体制を図りながら各種大会や行事が活発に行われるようになった。それから26年経った平成14年3月20日、県下で唯一「連盟」としていましたが「上市町ソフトボール協会」と改名した。

当協会の状況といたしましては、昭和52年創立より昭和56年度の63チーム登録をピークに減少し、現在は4チームとなりました。まさに、ソフトボール離れが顕著化しております。しかしながら、事業所対抗ソフトボール大会やスローピッチソフトボール大会を継続して開催し、レクリエーション性の再認識や選手層の拡大に努めております。

私たちの愛するソフトボールは、オリンピックや国体を頂点とする力と技の「競技スポーツ」という一面と、子供から老人まで幅広い多くのプレーヤーが、それぞれの身体能力、それぞれの社会環境で楽しめる「レクリエーションスポーツ」の一面を持ち

合わせており、これほど素晴らしいスポーツは他に類を見ないと思っております。特に男子部門では、一般のほかに壮年、実年、シニア、ハイシニアなど幅広い年代種別を有するソフトボールは、まさに高齢化社会といわれている昨今において、生涯スポーツの一翼を担っているといえます。

思い起こしますと、当協会においては、平成22年9月開催の第25回全日本壮年大会大阪府大阪市にて、ニコルズが47チームの頂点、全国大会初制覇を果たしました。その後、平成24年9月開催の第27回全日本壮年大会熊本市において準優勝、平成26年9月開催の第29回全日本壮年大会甲府市において、2度目の全国制覇を達成し「富山県にニコルズあり」の名声を高めました。この優勝祝賀会には、多くの県協会の役員の方々をはじめ、近隣各支部協会の役員の方々と共にニコルズの勝利を祝いました。



全国大会V2達成の祝賀会の様子

今後は、当協会のチーム数の激減もございますが、これまで以上役員一丸となってソフトボール競技の普及啓発に努めると共に、ニコルズのような全国にも通用するチームをサポートし、魅力あふれる上市町ソフトボール協会にしていきたいと思っております。

現役員

会 長	堀 田 洲三	
副 会 長	若 林 義則	丸 田 信夫
相 談 役	浜 本 浩次	山 田 隆夫
理 事 長	碓 井 健次	

副理事長	竹田 亮成
審判長	笹野 雄治
ルール委員長	清水 宏
記録委員長	杉田 重幸
広報委員長	柴田 芳和
事務局長	中村 政一
事務局次長	碓井 秀樹

第29回 全日本壮年ソフトボール大会 結果

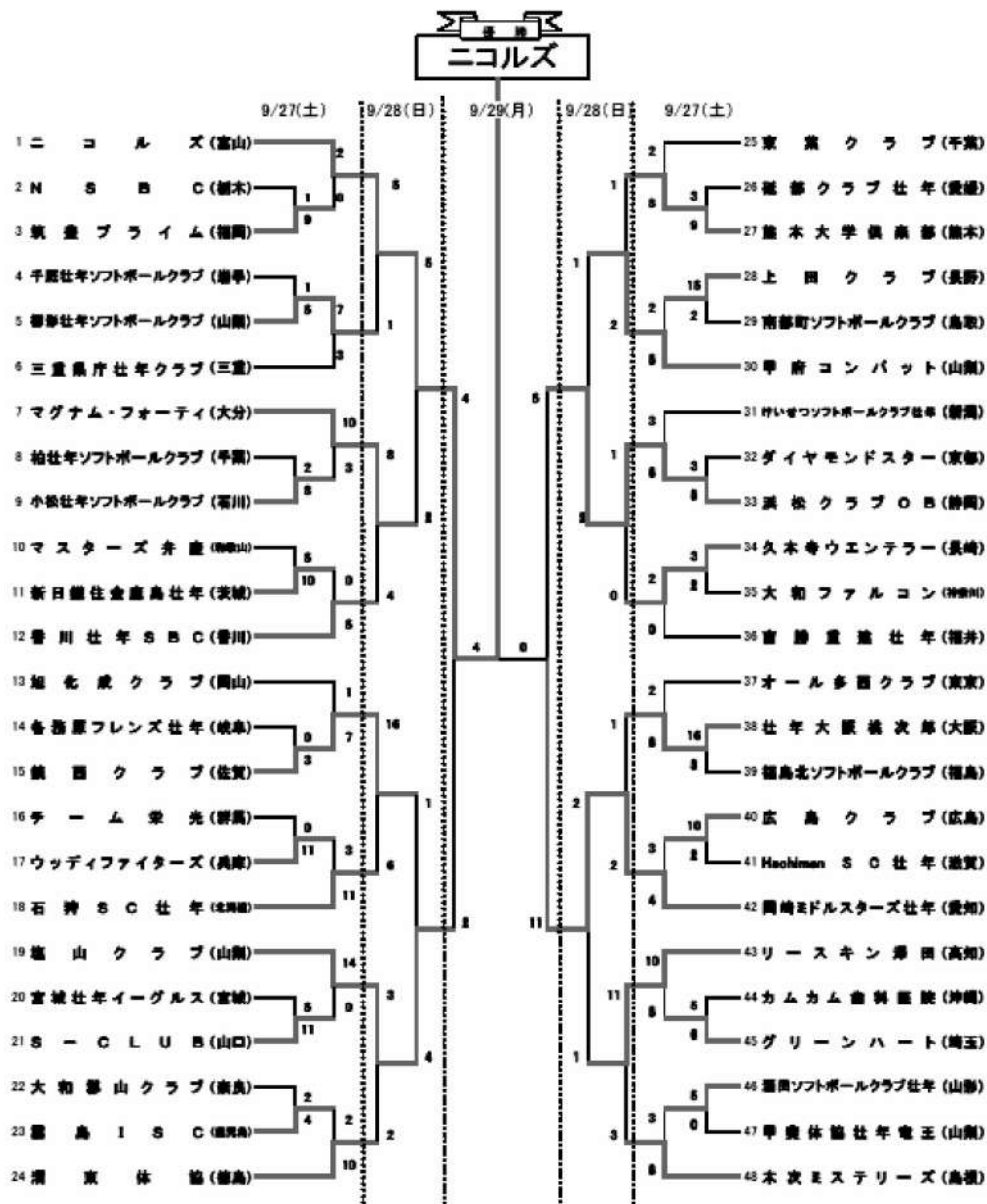
試合開始予定時刻
 第1試合：9:00～
 第2試合：11:00～
 第3試合：13:00～
 第4試合：15:00～

期 日 平成26年 9月27日(土)～29日(月)

会 場

A・B球場：甲府市・小瀬スポーツ公園球技場
 C・D球場：甲斐市・双葉スポーツ公園グラウンド

E・F球場：甲斐市・釜無川スポーツ公園グラウンド
 G・H球場：中央市・中巨摩地区第2公園グラウンド



立山町ソフトボール協会



協会設立年月 昭和42年6月25日

協会所在地 〒930-0214
中新川郡立山町五百石71
TEL (076) 463-0092

協会役員

会長	坂田 勲	
副会長	佐藤 康弘	黒田 重靖
理事長	渡辺 満雄	
副理事長	中山 信昭	坂田 均
審判部長	清水 清和	
競技部長	東崎 貴明	
技術指導部長	安川 順和	
事務局長	高村 裕隆	

我が町協会の特色

ジュニアから中学・高校・一般・シニアまで切れ目なくチームがあり、幅広い年齢層でソフトボールを楽しみ健康作り体力作りのお手伝いをしています。

また、クラブチームとして歴史ある大森クラブが、常日頃厳しい練習をし活躍しています。

しかし、近年スポーツの多様化や少子化、指導者不足によりジュニア・中学校では、部員数が減り低迷していることは誠に歯がゆい思いです。

町協会あげて、この課題に対して取り組み指導・育成し、人材発掘に力を入れ普及・発展に切磋、琢磨、努力する所存です。

10年間の主な大会

- 平成23年度 5月21日～22日
全日本クラブ女子選手権北信越大会
- 平成24年度 6月2日～3日
北信越シニア大会

- 平成25年度 7月7日・21日
全国健康福祉祭
- 平成28年度 5月29日・6月5日
県民スポレク祭
- 平成29年度 6月21日～22日
北信越壮年大会
- 平成30年度 11月3日～6日
ねんりんピック富山大会

ねんりんピック開催

立山サンダーバードは、地元枠で参加し沖縄代表チームと対戦（惜しくも敗退）。大阪代表チームとは交流試合をしました。



立山町ソフトボール協会50周年記念大会

北信越大会を開催し、サンダーバード壮年が、福井県代表大野クラブと対戦。



立山町50周年記念事業

日本体育大学の高橋流星先生の講演会を催した。

先生にソフトボールの将来に関して熱い思いを話していただきました。



講演に先立ちピッチングやトレーニングの実技指導も行っており技術力の向上に大いに寄与されました。





富山市ソフトボール協会

設立 昭和23年11月

1. 歴代役員

会 長 井口 信之 (S55~H9)	副会長 宮本 春雄 (H22~現在)
会 長 高畑 稔 (H10~H21)	副会長 石田 淳二 (H24~H27)
会 長 渡邊 孝 (H22~H25)	副会長 大河 俊一 (H24~H27)
会 長 野原 孝夫 (H26~現在)	副会長 石坂 昭 (H26~H29)
会長代行 武部 晃昭 (S59~H13)	副会長 数井 正巳 (H26~H29)
副会長 松本 信一 (H8~H25)	副会長 青島 勝弘 (H26~現在)
副会長 沖 功 (H14~H17)	副会長 柴田 佚夫 (H26~現在)
副会長 川原 紀雄 (H14~H17)	副会長 浜井 明 (H28~現在)
副会長 酒井 賢一 (H10~H24)	副会長 安本 伸次 (H30~現在)
副会長 杉田 実 (H18~H21)	副会長 北村 隆則 (H30~現在)
副会長 本多 正弘 (H18~H24)	理事長 井城 友行 (H22~H29)
副会長 大浦 重一 (H18~H24)	理事長 長江 信市 (H30~現在)
副会長 麻島 裕之 (H18~H19)	事務局長 島田 博昭 (H30~現在)
副会長 横山 浩 (H22~H25)	

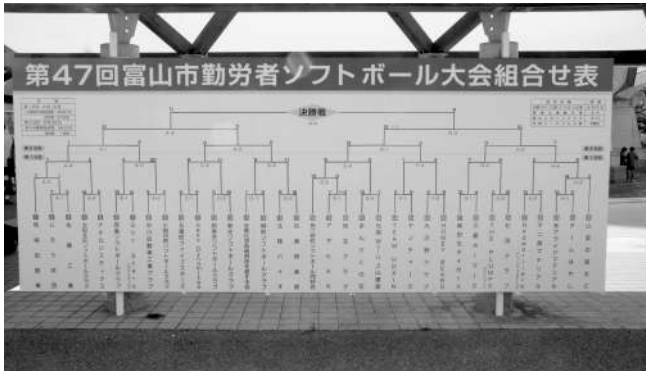
2. 主なあゆみ

校下対抗ソフトボール大会 (元 市民スポーツ祭)				
Aブロック			Bブロック	
大会年度	優 勝	準優勝	優 勝	準 優 勝
H20年度	柳 町 校 下	堀 川 校 下	杉 原 校 下	愛 宕 校 下
H21年度	保 内 校 下	山 室 校 下	東 部 校 下	杉 原 校 下
H22年度	柳 町 校 下	太 田 校 下	堀 川 校 下	清 水 校 下
H23年度	山室中部校下	萩 浦 校 下	八 人 町 校 下	八 尾 校 下
H24年度	西田地方校下	樫 尾 校 下	萩 浦 校 下	杉 原 校 下
H25年度	卯の花校下	東 部 校 下	萩 浦 校 下	太 田 校 下
H26年度	萩 浦 校 下	光 陽 校 下	卯の花校下	藤ノ木校下
H27年度	東 部 校 下	堀 川 校 下	卯の花校下	新 庄 校 下
H28年度	雨で中止			
H29年度	卯の花校下	柳 町 校 下	新庄北校下	月 岡 校 下
H30年度	安野屋校下	太 田 校 下	卯の花校下	藤ノ木校下

昭和40年6月に開催された第1回市民スポーツ祭は、壮年層のスポーツ活動を推進することを目的として野球、ソフトボール、卓球の3競技が実施された。年度ごとに競技が増え、平成4年には9種目を数えたが、平成5年から卓球、バドミントンが自主競技となり平成7年にはソフトボールも自主競技となったため、第1回校下対抗ソフトボール大会をスタートさせ、今年は第24回大会を迎えた。

富山市長旗争奪 富山市勤労者ソフトボール大会		
大会年度	優勝チーム	準優勝チーム
平成20年度	E A S T H I G H	中川自動車工業クラブ
平成21年度	中川自動車工業クラブ	新庄ソフトボールクラブ
平成22年度	E A S T H I G H	不二越マテリアル
平成23年度	E A S T H I G H	B A N B A 自 動 車
平成24年度	E A S T H I G H	長江新町ソフトボール同好会
平成25年度	馬 場 自 動 車	E A S T H I G H
平成26年度	(株)アライドマテリアル	中川自動車工業クラブ
平成27年度	杉 田 ク ラ ブ	大 沢 野 ク ラ ブ
平成28年度	内 島 マ ッ ス ル	中川自動車工業クラブ
平成29年度	岩 瀬 倶 楽 部	ヤ ン チ ャ - ズ
平成30年度	馬 場 自 動 車	長江新町ソフトボール同好会
令和元年度	中川自動車工業ク	長江新町ソフトボール同好会

今年第47回大会を迎えた勤労者ソフトボール大会は、昭和48年に富山市商工労政課（現商業労政課）が、富山市内の事業所、商店に働く勤労者及び市内に居住する人達で編成されたチームを対象に健全な心身の育成と相互の親睦、明日への勤労意欲の涵養を図ることを目的に開催された大会で昭和58年の第11回大会には132チームが出場した実績があるが、会場と審判員の確保が難しくなり、以後はチーム数を制限しながら大会を継続してきた。しかし行政改革の推進により行政主催の大会を維持する事が困難となり、平成18年度から富山市ソフトボール協会が主催を引き継ぎ大会を継続している。



令和元年度勤労者ソフトボール大会組合せ



令和元年度勤労者大会表彰式

3. 主な活動

平成21年度 富山市ソフトボール協会設立60周年記念誌を発刊した。

平成22年度 第31回北信越国体、第45回全日本大学男女選手権大会を岩瀬スポーツ公園で主管運営した。

平成23年度 第44回日本女子リーグ2部第4節ホープセクション主管した。
第55回中日本総合選手権を主管した。
第39回富山市勤労者ソフトボール大会を主催した。

平成24年度 全国高等学校総合体育ソフトボール大会、岩瀬スポーツ公園で開催し、成功裡に大会を終えた。

平成25年度 第40回北信越グラウンドソフトボール大会、第41回富山市勤労者大会等を岩瀬スポーツ公園で主催した。
第44回日本女子リーグ2部第1節富山大会を主管した。
第19回富山市校下対抗ソフトボール大会を開催した。

平成26年度 日本男子東日本リーグ第1節富山大会を岩瀬球場において主管した。

平成27年度 全日本小学生女子ソフトボール大会を岩瀬球場において開催した。
北信越国民体育大会ソフトボール大会を開催した。

平成28年度 全日本クラブ男子選手権大会を岩瀬スポーツ公園で主管した。
北信越高校男女新人大会を岩瀬スポーツ公園で開催した。
北信越中学校男女大会を岩瀬スポーツ公園で開催した。

平成29年度 日本女子リーグ2部第1節富山大会を岩瀬球場で主管した。
日本男子東日本リーグ第1節富山大会を岩瀬球場で主管した。
第45回富山市勤労者大会ソフトボール大会を主催した。

平成30年度 東日本大学男子選手権大会を岩瀬スポーツ公園で主管した。
日本男子東日本リーグ第1節富山大会を岩瀬球場において主管した。
ねりんピックソフトボール競技を岩瀬・東富山・常願寺で主管した。
北信越中学校選手権大会を岩瀬ソフトボール公園で主管した。

令和元年度 第52回日本女子リーグ2部第2節富山大会を岩瀬球場で主管した。
第47回富山市勤労者大会ソフトボール大会を主催した。
第54回全日本男子大学選手権大会を岩瀬球場で主管した。

射水市ソフトボール協会



富山県ソフトボール協会設立70周年、心よりお祝い申し上げます。

県協会の発展に尽力を尽くしてこられました歴代役員の方々に、敬意と謝意を申し上げますとともに、さらなる発展と飛躍を望みます。

1. 協会の設立

射水市ソフトボール協会は、平成17年新湊市・小杉町・大門町・大島町・下村の1市3町1村の合併に伴い、5協会が集まり平成18年4月29日小杉社会福祉会館にて総会を行い、ソフトボールの普及と振興を図り、競技力の発展と審判・記録員の技術の向上、生涯スポーツの推進を目的に初代会長に黒川彰三氏迎えて設立されました。

2. 活 動

旧小杉町の歌の森多目的グラウンドをメイン会場にして、5月に春季大会・6月に市民体育大会・8月に夏季大会・勤労者大会・10月に秋季大会を開催しており、県大会も昨年まで県レディース選手権大会・今年は県一般男子2部選手権大会を行っています。

2016年より、審判員の減少及び高齢化が現実と

なってきたので、市のみの登録3部のチームを除きすべてのチームから1名ないし2名3種公認審判員の資格を取得してもらい、帯同審判制を採用して大会を行っています。各大会の試合前に3種審判員のレベルアップのために、審判動作の確認を行っています。



平成24年4月日本女子リーグ1部を
歌の森運動公園野球場で開催

3. 現 況

登録チーム数は、1部4チーム・2部5チーム・3部2チーム・壮年・実年4チーム・レディース1チーム・エルデスト1チーム・スポ少1チームの17チームとなっています。公認審判員は31名、公認記録員0名です。

近年、登録チーム数の減少・審判員・記録員の高齢化による減少に歯止めがかからない現状です。協会として射水市及び各地区のスポーツクラブの協力を得て、ジュニア・中学生だけではなく、大人も含めたソフトボール教室・ピッチング教室を企画し底辺の拡大を目的に、ソフトボールの楽しさ・魅力を発信したいと思っています。

皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

4. 役 員（平成30・令和元年度）

会 長	長谷 隆夫	
副 会 長	島田 和芳	濱田 宏一
理 事 長	位寄 貴光	
副 理 事 長	室江 克己	仲本 良一
	作道 國幸	倉田 宗平
	岡田 清人	
審 判 長	作道 國幸	
事 務 局 長	岡田 清人	
事務局次長	宮原 浩和	竹脇 靖昌



平成22年11月全国スポレク祭を歌の森運動公園等で開催

高岡市ソフトボール協会



1. 旧高岡支部協会、旧福岡支部協会の設立

旧高岡支部の設立は、県協会が昭和24年設立された年の第2回県民体育大会で、正式種目になったことから愛好者が増え、気運が高まり橘 良先生等協会の設立を図り初代会長に吉居正俊氏、他の役員はすべて教員で組織、昭和27年にスタートした。

旧福岡支部は昭和51年に岡本栄一氏が中心となり設立した。昭和61年には初めての県主催「第24回北信越壮年ソフトボール大会富山県予選」を主管した。平成6年には福岡町合併40周年記念事業として「北信越ソフトボール選手権」を開催した。

平成18年の旧高岡市と旧福岡町の合併を機に、両支部協会は合併し、組織力の強化をはかり現在に至っている。

2. 発展期

平成期に入り、大学時代ソフトボールのエースとして国際大会等で活躍された藤森壽氏が中学校教師として着任されたことから、指導者としてジュニア層から一般まで幅広い階層を対象として講習会を開催した。特に投手力の強化、育成に指導を發揮された。この講習会を機に本格的なウインドミルピッチャーが誕生し競技力の向上に繋がっている。講習会は現在でもソフトボール教室として、毎年2月から3月にかけて、藤森壽氏を講師として、ジュニア層から一般層まで広く開催し好評を博している。

このような地道な普及活動により、中学女子チームの競技力も序々に向上していく中で、戸出中学校を中心に県代表、北信越レベルの選手やチーム

誕生へと発展した。

3. 平成21年から平成30年までの推移

平成20年

平成10年より開始した会長杯争奪選手権大会（グローバルリーグ）が11年目に入った。参加チームも6チームとなり活性を帯びてきている。

平成21年

この年は5種別3チームが富山県代表として北信越大会に出場した。戸出クラブは全日本総合、北信越総合選手権、エンジェルスは全日本レディース、北信越レディース選手権、戸出ソフトボールクラブは北信越実年でそれぞれ活躍した。

平成22年

第43回日本女子リーグ1部第5節富山（高岡）大会を5/29、30の両日に渡り開催した。トヨタ自動車、豊田自動織機、戸田中央総合病院、大鵬薬品の6チームの、世界トップレベルの白熱した試合を観戦することができた。トヨタ自動車ではアメリカのエース モニカ・アボット選手の投球もあった。



練習中のアボット選手

平成23年

全国大会でエンジェルスが昨年に引き続き全日本レディース大会でベスト16までコマを進めた。県民体育大会ではレディースの部はエンジェルス、エルダーの部でスーパー・エンジェルスがそれぞれ優勝、中学女子の部で戸出中学校が準優勝した。

平成24年

H24年度より、中学校体育授業の必須内容としてソフトボールを行うこととなり、それに伴うジュ

ニア層の育成事業として夏季は強化試合冬季はソフトボール教室を行った。

平成25年

戸出マスターズ2年連続で全国大会へ エンジェルスは2年ぶりに全日本レディース大会で活躍した

平成26年

戸出マスターズが全日本実年大会へ、戸出ソフトボールクラブが全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ、エンジェルスが2年連続で全日本レディース大会へそれぞれ出場した。

平成27年

第48回日本女子ソフトボール1部リーグ第7節高岡大会を、高岡ボールパークのオープン記念として9月5、6日に開催した。ビックカメラ高崎、トヨタ自動車、NECプラットフォームズ、SGホールディングスグループ、ペヤング、日立的の6チームで4試合を行った。



参加したトヨタ自動車の選手

平成28年

県民体育大会で高岡勢が活躍

戸出マスターズは全日本スポーツマスターズで3位入賞の快挙をなしとげた。

第69回富山県民体育大会で参加した高岡勢がそれぞれの部で好成績をあげた。エンジェルス、スーパーエンジェルス、高岡ナイスミドルは壮年B、高岡選抜Aは準優勝の活躍を見せた。

平成29年

会長杯争奪選手権大会(グローバルリーグ)が開始から20年を迎えた。参加チームの減少するなか多年にわたり実施をした。本大会はこの年をもって発展的解消をした。



最後に優勝したエンジェルス

平成30年

平成9年から20年間の長きにわたって会長の重責を担っておられた石灰昭光会長にかわり、川島国県議へバトンタッチが行われた。か

4. 今後の展望と課題

ジュニア層の育成を始めとした、競技人口の拡大が必要である。全国的な小児化の中、幅ひろい層を確保するため支部に、新たな事業の展開が望まれる

当支部においても、日本女子リーグの招聘を始め継続的な大会の開催ができる環境整備が必要である。さらには役員の高齢化現象が当支部においても顕著であり、新たな人材の発掘と、魅力ある活動が必要である。

5. 現在の主な役員

会 長	川 島 国
副 会 長	中村 清志、高嶋 和幸、 宮本 久之
理 事 長	二塚 敦
副 理 事 長	山崎 豊次、本江 幸治
審 判 長	中川 外明
技術委員長	藤森 壽
指導者委員長	車 佳代子
事 務 局 長	保里 秀光
事務局次長	行平 憲一
常 任 理 事	大野 敏光、麻生 保、 菓子井栄子、山本栄佐男、 竹内 久雄、野村 匡一

氷見市ソフトボール協会



1. 創立年月日

氷見市ソフトボール協会の前身である氷見市役所ソフトボール部が昭和37年まで各種大会の世話を行っていたが、更なるソフトボール競技の普及や振興、競技力向上のため昭和34年4月1日に富山県ソフトボール協会氷見支部として氷見市ソフトボール協会が発足した。

発足当時の役員

会 長	伏 脇 毅
副会長	大島新三郎
理事長	余川 精一
監 事	竹内 外松
監 事	谷畑 進

2. 活動内容

協会主催の大会が年間4試合と氷見市商工会議所との共同開催が1試合開催している。また、年間2大会ほど氷見市にて県大会を開催するにあたり、前日からグラウンドの整備（草むしりや土砂運搬）や準備を行ってきた。

3. 現 状

10年間で中学女子が2チームから1チームに、一般男子が7チームから2チームに、一般女子が無くなりチーム数が激減した。課題の解消に向けて取り組んできたが、なかなか登録チーム数の増には結びつかないのが現状である。また、協会員の高齢化が進み後継者が育たず深刻な状況となっている。

4. 今後の展望

市外、県外に依頼して1チームでも多くの参加で開催し、ソフトボールの魅力や普及ができればと思う。また、審判の魅力をチームに訴え一人でも多くの審判取得活動を実施していく。高齢化となったが、ソフトボールに対する情熱は今も変わらず厚く、今後も伝承していきたい。

現在の役員（令和元年度）

会 長	稲積 佐門
副 会 長	中川 明
顧 問	堀江 修治
理 事	西井 幸一
理 事	松下 外幸
審 判 長	森 克己
監 事	尾崎 栄一
広報・推進部長	
	浜井 正毅
事務局長	梅田 利弘
事務局次長	高木 敬介
事務局員	坂木 努

砺波市ソフトボール協会



【合併を機会とした組織の充実】

当協会は、平成16年11月砺波市と庄川町の行政の合併に合わせ、同月27日に砺波市ソフトボール協会と庄川町ソフトボール協会が、合併し新たな組織にてスタートしました。それまでの両協会の長い歴史の中で、地区でのソフトボール競技の発展と向上、スポーツの振興に努め、役員諸先輩方のご尽力により発展してきた経緯を重んじ、より組織の融和と充実に向けて取り組んできました。

その新たなスタートとなる平成17年は、砺波市ソフトボール協会が昭和30年に設立し50年目を迎える節目の年となり、思い出の残る協会合併／設立50周年記念事業として「日本女子ソフトボールリーグ1部富山大会」を開催しました。

この大会を通じ運営には、協会の合併で顔や名前もわからなかった役員や、日頃試合でしか顔のわからない人たちと、親しく話をする機会を得たこと。そして、何よりも日本トップレベルで活躍する選手のプレーを、目の前で見ることができ、選手たちと親しく会話ができたことなど、参加した皆さんや当協会にとって大きな財産となったと思います。

【協会の取組み】

・ソフトボールの普及・愛好者の増加

協会では、ソフトボールの普及や愛好者の増加を目的とした大会を継続に開催しており、砺波市ナイターソフトボール大会は、市登録に関係なく出場でき、リーグ戦とリーグ戦上位チームによるトーナメント方式により大会を行っている。(令和元年度は、11チームの参加)

また、会長杯ナイターソフトボール大会は、「スローピッチ・ソフトボールルール」を採用し、旧庄川町地区では、各町内会単位で出場するチームや現在では、自衛隊や企業チームの参加チームも交え実施している。(令和元年度は、10チームの参加)

両大会とも、ユニフォームや背番号など同一でなくても試合に参加できるなど、あまり細かな規制を設けず、なるべく多くのチームが参加できるよう心掛けています。

砺波市のソフトボール競技で最も特徴的なのは、地区対抗となる砺波市民体育大会において、一般男子は、21地区中参加20地区と競技種目の中でも最も参加が多く、また、一般女子においても10チームの参加と非常に多く、今後ともソフトボール競技の普及、振興のため、参加チーム数等が維持できるよう取り組んでいきたい。

・ソフトボール技術向上と強化

協会の普及部では、小学生・中学生・高校生への講習会による技術指導をはじめ、一般も参加したウインドミル投法等の練習会の開催など、ソフトボールの技術を向上させたいという思いを叶える機会として継続的に実施している。

ウインドミル講習会においては、平成30年度で年間73回開催し、延べ1,118人が参加している。

また、技術指導講習会では、YKK女子ソフトボールチームや啓新高校(福井県)男子ソフトボール部監督を招致し、その参加者は、砺波市内だけ



庄西中学校

でなく呉西各市から多くの選手、指導者が集まり、お互いが刺激し合い、ソフトボールを通じた交流の場ともなっています。

こうした活動が身を結び、平成30年度は、庄川中学校、令和元年度は、庄西中学校が県選手権大会で優勝し、庄西中学校においては、砺波市初の全中出場を果たしました。

・審判員の育成

審判員の高齢化や人員不足が近年大きな課題となっており、人材発掘、審判講習会の地元開催など地道な活動を継続的に行い、審判員体制の強化を図っていききたい。

・令和元年度役員

会 長	石黒 信雄				
副 会 長	天野 良一	遠藤 孝	小西 定雄		
	寺田 修康	野村 健次	秋本 潤		
理 事 長	坂井多鶴夫				
副理事長	上野 勉	松島 栄量	嶋田 徳明		
審判部長	寺田 修康				
副審判長	松島 栄量	森田 昇			
	小滝 和弘				
事務局長	嶋田 徳明				
事務局次長	但田 和洋				



南砺市ソフトボール協会



平成17年度に町村合併により南砺市ソフトボール協会が発足し、14年が経過いたしました。その間に会長が2名代わり、現在は南砺市議会議員の竹田秀人が3代目会長として協会を統括しております。

現在、当協会主催の大会は、ナイターリーグと、南砺市長杯、そして市民体育大会（市民スポーツ部門、チャンピオン部門）の3大会です。その他、県主催の大会をエルダー、レディース大会等複数回、毎年開催しております。

また、北信越大会をこれまでに5回開催しており、今年度は5年ぶりに、第39回北信越総合男子新人大会を旅川グラウンドで開催いたしました。革ボールの大会は初めてで、ゴムボールと違った迫力や緊張感があり、大変貴重な経験となりました。

近年は、競技人口の減少や産業構造の変化からか、市民や企業チームの参加が少なくなりました。県登録チーム数自体はあまり変わらないのですが、一般男子やレディース登録が少なくなって、シニアやエルデストといった年齢の高い種目の登録に代わるなど高年齢化しています。また、少子化による少年団や中学校のソフトボール部の減少も、競技人口減少の大きな要因となっています。東京オリンピックを最後にソフトボール競技が正式種目から外れるということが言われておりますが、競技の発展を考えるとまた近い内に正式種目として復活するよう、県から国に強力に働きかけていただきたいと考えております。

最後に、会員相互の親睦を図りながら更なるソ

フトボール競技の普及、競技力の向上に寄与するよう努力して参りますので、今後とも県協会各位のご指導の程よろしくお願いいたします。

協会役員

会 長	竹田 秀人
副 会 長	澤 恭次、臼井 芳雄
理 事 長	田中 一昭
審判部長	西井 隆生
記録部長	土谷 邦雄
事務局長	山道 久功
協会ホームページ	

<http://www1.tst.ne.jp/hy762/>



平成17年開催北信越大会開会式



令和元年開催ナイターソフトボール大会

小矢部市ソフトボール協会



【沿革】

小矢部市ソフトボール協会は、昭和45年4月に設立された。当時の会長は、浅香 敬。理事長を、吉江宗勝が努めた。以下、歴代会長、理事長は、次の通りである。

昭和53年～	会長 上木太郎治	理事長 山本 喜彦
昭和58年～	会長 山本 喜彦	理事長 村上 茂保
昭和61年～	会長 山本 喜彦	理事長 川合 正隆
平成14年～	会長 横山 正美	理事長 川合 正隆
平成21年～	会長 川合 正隆	理事長 山崎 進
平成27年～	会長 川合 正隆	理事長 中ノ神清光
令和元年～	会長 川合 正隆	理事長 川原 賢司
～現在に至る		

【主催大会】

現在、小矢部市ソフトボール協会が主催する大会は、下記のとおりである。

◎朝間ソフトボール大会（昭和58年～）

◎小矢部市長杯ソフトボール大会

※旧「300歳ソフトボール大会（昭和57年～）を平成27年に変更

◎男子選手権大会（昭和59年～）

※旧「クラブ対抗」を平成3年に改称

◎ナイターリーグ（平成元年～）

◎市民体育大会（昭和45年～）

なお、現在は休止しているが、次の大会をこれまで開催していた。

- ・地区対抗少女ソフトボール大会（昭和56年～平成2年）
- ・女子選手権大会（旧「クィーン杯」

昭和60年～平成3年）

- ・ソフトボールフェスティバル（平成7年～13年）

【近年の主な主管大会】

- ・ H 2, 16, R1 富山県民体育大会ソフトボール競技
- ・ H 4 日本女子ソフトボールリーグ「中日本リーグ」
- ・ H 6 北信越家庭婦人
- ・ H 6, 8, 14 北信越一般男女・男女新人
- ・ H 7, 20 全日本実業団男女北信越予選
- ・ H 9 第18回協会加盟支部対抗
- ・ H10, 15 富山県クラブ対抗
- ・ H11 第14回富山県壮年選手権
- ・ H11, 15 スポレク祭富山県予選、
- ・ H12 第15回全日本壮年男子選手権
- ・ H14 第8回北信越大学男女選手権
- ・ H17, 18, 19, 21 富山県レディース・エルダー大会
- ・ H29, 30, R1 北信越エルダー大会富山県予選大会
- ・ H19 全日本実年富山県大会
- ・ H21 北信越総合男女・総合男女新人
- ・ H26 北信越実年大会・北信越エルダー大会
- ・ H27, R1 中ブロックエルダー富山県予選大会

【登録数】

- ・ 市協会登録チーム 6チーム
（うち県登録 男子2部1チーム、エルダー1チーム）
- ・ 登録審判員 11名
- ・ 登録記録員 2名
- ・ 登録指導員 4名

【活動状況】

小矢部市ソフトボール協会は、上記各種大会の開催継続により、小矢部市民にソフトボール競技の場を提供するとともに、競技人口の減少対策として、次の事業に取り組んでいる。

- ・親子ソフトボール教室（おやべスポーツクラブと共催）の実施（平成12年～）
- ・女子チーム「ピーチーズ」の設立・運営（平成17年～）
- ・ピッチング講習会（平成 年～）

役員のまとまりのよさとチームの協力により、約50年の歴史を重ねることができたが、少子化に伴う中学校部活の廃止や登録チーム数の急激な減少、役員の高齢化と人数減など、当協会を取り巻く状況は厳しい。今後も、ソフトボールの火を消さないよう、役員一同、力を合わせていきたい。

【役 員】（2019. 2020年度）

会 長	川合 正隆	
顧 問	横山 正美	
副 会 長	小橋 峰明	中ノ神清光
理 事 長	川原 賢司	
審 判 部 長	中ノ神 寛	
副審判部長	米永正四志	西尾和三郎
	佐野 優治	川原 賢司（兼）
記 録 部 長	小橋 峰明（兼）	
副記録部長	中ノ神トヨ	
技 術 部 長	水牧 春雄	
副技術部長	山元 勇二	
事 務 局 長	柿本 悠希	
事務局次長	西野 静子	
会 計	柿本 悠希（兼）	
監 事	松尾 敏昭	下川 章
常 任 理 事	宮下 誠一	谷口 正成
	吉田 富夫	野澤 敏夫
	野沢 弘一	



各専門委員会のあゆみ

高体連委員会

【回顧】

高体連専門部10年のあゆみ

(平成21年度～30年度)

富山県高体連ソフトボール専門部

委員長 関根 邦明

この10年間の高体連専門部の事業を振り返り、まず始めに思い出されることは、平成24年度に開催された「北信越かがやき総体」です。インターハイがブロック開催になって2年目と言うこともあり、どの県もどの競技も手探り状態で準備を進めていたことが思い出されます。紆余曲折ありましたが、県教育委員会や高体連本部の指導を頂き、専門部の先生方を始め多くの方々に支えられ、何とか成功裏に会を綴じることができたと思っております。そして何より審判員、記録員をはじめ、県協会役員の皆様のご協力無くては成し遂げられないものであり、大変感謝しております。

先の60周年からの課題であったチーム登録数の減少問題は、各学校の顧問の先生方が意欲的に取り組んで下さいましたことや、富山西高校が再びチームを編成し、登録してくれたことなどもあり、なんとか踏みとどまっている状態です。また、平成22年度からは富山工業高校の男子チームが新たに登録した

ことで活気に湧き、今では国体で入賞するなど、男子部の強化の拠点として活躍してくれています。

高体連専門部では合同チームの参加資格の是非やシード権の設置、トーナメント編成のことなど幾度も議論を重ねてきました。多くの選手が日頃の活動を発表するチャンスが持てるよう、強化はもちろん普及・発展についても試行錯誤して参りました。

今後は部活動の休養日に関する問題などを抱える中、大会の精選や充実などの見直しが課題とされ、時代の変化に柔軟に対応しながら運営していくことが必要となってきます。これからも専門部のチームワークを大切に、皆で普及・発展・強化について課題と向き合い、選手の活動を全力でサポートして行きたいと思っております。

【歴代部長・委員長・参加校】

年度	部長名	委員長名	男子	女子
平成21年度	竹島 慎二	富岡 智	1	18
平成22年度	竹島 慎二	富岡 智	2	18
平成23年度	森田 慎一	富岡 智	1	17
平成24年度	森田 慎一	富岡 智	1	16
平成25年度	神田 聡	富岡 智	1	17
平成26年度	神田 聡	富岡 智	1	17
平成27年度	桐井 克二	富岡 智	1	17
平成28年度	桐井 克二	富岡 智	1	18
平成29年度	小泉 量裕	富岡 智	1	18
平成30年度	小泉 量裕	富岡 智	1	18

【上位大会の成績】

		北信越大会		全国大会		
		選手権	新人	選手権	選抜	国体
平成21年度	男子		—	—	—	—
	女子			雄山 1 回戦	雄山 1 回戦	—
平成22年度	男子		富山工 2 位	—	富山工 中止	—
	女子	滑川 3 位	滑川 優勝	滑川 2 回戦	滑川 中止	県選抜 1 回戦
平成23年度	男子			富山工 1 回戦	富山工 1 回戦	—
	女子	滑川 優勝	滑川 優勝	滑川 1 回戦	滑川 1 回戦	—
平成24年度	男子			富山工 1 回戦	富山工 1 回戦	富山工 5 位
	女子	滑川 2 位		滑川 2 回戦	雄山 1 回戦	—
平成25年度	男子	富山工 2 位		龍谷富山 1 回戦		
	女子			富山工 1 回戦	富山工 1 回戦	—
平成26年度	男子	富山工 3 位	富山工 2 位	滑川 2 回戦	雄山 1 回戦	—
	女子	滑川 2 位	滑川 優勝	富山工 ベスト16	富山工 1 回戦	—
平成27年度	男子		富山工 3 位	滑川 1 回戦	滑川 1 回戦	県選抜 1 回戦
	女子	滑川 3 位	滑川 優勝	富山工 2 回戦	富山工 1 回戦	—
平成28年度	男子			滑川 1 回戦	滑川 2 回戦	—
	女子	滑川 優勝	滑川 優勝	—	富山工 1 回戦	—
平成29年度	男子		富山工 優勝	滑川 1 回戦	滑川 ベスト8	県選抜 1 回戦
	女子	滑川 優勝	滑川、龍谷富山 優勝	富山工 1 回戦	富山工 2 回戦	—
平成30年度	男子			滑川 2 回戦	滑川 1 回戦	県選抜 1 回戦
	女子	滑川 2 位		富山工 1 回戦	富山工	富山工 5 位
				滑川 1 回戦	南砺福野	

中 体 連 委 員 会

中学校ソフトボールの発展を目指して

1 10年のあゆみ

平成20年に全国中学校体育大会のソフトボール競技が開催されてから10年の年月がたちました。振り返ってみると、競技力アップや底辺の拡大に努めるものの、チーム数の減少、県選手権大会、県選抜大会等のしくみの変更等、多くの課題に直面した10年でもありました。

県選手権大会ではこの10年で魚津東部中学校が5回の優勝を果たしています。また、北信越大会でも優勝1回、準優勝1回と活躍が目立ちました。平成30年度優勝庄川中学校、令和元年度優勝庄西中学校と砺波地区の学校が上位に上がってきています。

庄西中学校は北信越大会も勝ち上がり、準優勝で初めての全国中学校体育大会出場を果たしました。全中出場は魚津東部、雄山、呉羽、速星に続いて5校目となります。

また、全中での富山県勢の勝利は平成13年の雄山中以来ありませんでしたが、平成27年魚津東部中が北信越での優勝の勢いをもってベスト8まで進むことができました。

県選抜チームをもって挑んでいる都道府県対抗全国中学生大会においても、平成20年度に2勝をあげて以来勝ち星に恵まれていませんでした。特に平成27、28年度は1対0での敗戦に大変悔しい思いをもちました。臨んだ平成29年度の大阪大会では10年ぶりの2勝を挙げることができました。

全国大会では勝つことすら難しかった北信越勢も長野県勢を中心にこの10年で躍進する成績を収めています。富山県勢も念願の全国の勝利を得ましたが、これに満足することなく、さらに上位の成績を目指すように努めていきたいと考えています。

2 チームの現状

近年の少子化や部活動の削減のあおりを受けてこの10年で中学校のチームも変化をしてきています。

平成20年に新川地区8校、富山地区10校、高岡地区11校、砺波地区6校、計35校の学校にソフトボー

ル部があり活動をしていましたが、令和元年秋で新川地区6校、富山地区9校、高岡地区8校、砺波地区3校、計26校と減少しています。特にここ3年で5校減少と歯止めがかからない状況であります。これをふまえて地区大会の区割りや県選手権大会、県選抜大会の持ち方について専門部で検討しています。令和2年度より県選手権大会は8チームでの開催になり、さらに将来は現在の4地区での大会を東西地区大会へ変更を予定しています。

ソフトボールをやりたい子どもたちが中学校でやれないという現状を危惧しており、クラブチームの立ち上げ等も視野に入れていますが、簡単にチームが作れる状況ではありません。危機感をもって対処する必要を感じています。

3 今後10年に向けて

部活動の時間短縮もあり、中学校だけの選手強化や競技力向上ということは難しい時世となっています。しかしながら、強化も大切なことではありますが、競技人口を増やすことが最重要課題となっています。ソフトボールを楽しむことの普及面での活動にも力を入れることで、チームの減少にも歯止めを掛けていきたいと考えています。

関係諸先生や指導者の方々、県協会との連携も図り、多くの選手が活躍できるチームの育成に努めていきたいと考えています。

中体連委員長 西岡 弘道



小学生委員会

小学生への普及を目指して

小学生委員長 上野 勉

1 組織と活動

小学生委員会は、県内登録小学生チームの9名の指導者で構成され、大会運営、普及活動、強化活動等に、担当委員が自チームの指導をしながら、積極的に関わっている。

広瀬修前委員長（現富山県ソフトボール協会理事長）の、20年以上の長年の功績及び指導によるところがおおきく、今の小学生委員会の活動の礎となっている。

2 登録（チーム・選手・指導者）

富山県の小学生チームの登録数は、女子の場合、12チーム（H20）から6チーム（R1）へ半減し、令和元年度新人大会（5年生以下）は4チームの参加（うち1チームは3チーム合同）となり、減少している。同じように、登録選手数も120人（H25）から81人（R1）と減少している。また、指導者登録数も27人（H25）から18人（R1）と、同じく減少の一途をたどっている。

入団者が減少し、存続が厳しい現状のチームでは、合同チームを結成して、チームが無くならないように努力している。

ソフトボールをしたくても、チームがなければプレーできない現状があり、チームを存続していくためには、自分の時間をソフトボールの指導にあてる、情熱ある指導者の関わりが望まれるところである。

また、その指導者を支える、助ける地域、保護者等の協力が必要不可欠であると思われる。

3 競技力の向上

平成25年3月に開催された、第6回春季全日本小学生女子大会（大分県）では、平井恵夢投手の快速球の活躍等もあり、ダイヤモンドキッズ（砺波市：上野勉監督）が3位入賞を果たしている。



ダイヤモンドキッズ

また、平成27年3月に開催された、第8回春季全日本小学生女子大会（三重県）では、獵場ももこ投手の連戦連投の活躍等で、経田B-WINGS（魚津市：森川亮監督）が、同じく3位入賞を果たしている。



経田B-WINGS

北信越小学生女子大会では、経田ブルーウイングス（H22福井県）、ダイヤモンドキッズ（H24新潟県、H25長野県）、吉島ジュニアソフトボール（H26石川県）、経田B-WINGS（H27福井県）、魚津アップルジュニアソフト（H29新潟県）が優勝を果たしており、ここ10年間で半数以上、富山県チームが優勝、次勝しており、北信越地区の小学生女子の競技力の向上を図っている。



魚津アップルジュニアソフト

4 富山カップ大会の運営

小学生委員会が大会運営の中心となって「富山カップ小学生女子交流大会」を、平成21年から開催しており、令和元年度で第11回目の開催となる。

第6回大会までは、6年生以下の大会で実施し、第7回大会からは5年生以下の大会として開催している。

これは、毎年11月に大会を開催していることから、春季全日本大会を目指す5年生以下の競技力向上を

図っている。

また、北信越5県のチームはもとより、近畿地区、東海地区のチームにも参加を呼びかけ、県外の強いチームとの交流試合を実施し、北信越地区及び富山県のレベルアップを図っていききたい。

北信越地区の競技力を上げることが、富山県チームが全日本で良い成績あげることができると思っている。

5 6年生選抜チームの活動

毎年、6年生の参加大会が終了したあと、6年生選抜チームを結成し、練習、練習試合、遠征（石川県、岐阜県、静岡県）を実施している。

引退した後の競技力を下げないため、また、中学生になってもソフトボールを続けてほしいという思いである。

中学生の後、高校生になってもソフトボールを続けてほしいことから、中学3年生で引退した後も、競技力を上げる活動をしてもらいたい。

お金も時間もかかる活動であるが、小学生委員会の大人が、6年生小学生女子の活動に時間をかけることが大切なことだと思っている。

6 ティーボールの普及と啓発

試合に出場する機会が少ない、県登録チームの4年生以下の選手を2チームに分けて、第3回ジュニアティーボール富山県選手権大会（R1. 7. 6 ボールパーク高岡）に参加した。

平成30年度にソフトボール普及振興事業「キッズソフトボール体験会」と称して、小学生低学年及び幼児期における未経験者への普及を図るために、砺波市の2保育園等（88名参加）で実施した。



普及事業

また、日本野球機構（NPB）の寄贈事業として、低年齢層児童を中心に野球やソフトボールへの関心

や楽しさを体験するきっかけを提供することを目的として、砺波市の種田グラウンドに、ボール投げ当て遊び用の壁「ベース・ウォール」が設置された。（H 28. 11. 23）



ベース・ウォール

野球、ソフトボールの競技人口は激減しているが、サッカー、バスケット等は微減で。

ソフトボールの魅力は、「ボールをうまく遠くへ投げれる」、「バットでボールを思いっきり打てる」、「ボールをうまく捕れた」であり、その思いを幼児期に経験させる、機会を持つことが大切です。

各競技の普及活動を見習い、継続的な「ベースボール型」ティーボールの継続的な普及が望まれる。

7 今後の展望

福井県に小学生男子ソフト連盟があり、各年代の男子の競技力が高い。

歴史を真似することはできないので、富山県が同じことはできないが、富山県で1チームの男子小学生チームの結成が、富山県の一般男子のレベルを上げ、指導者も育つと思われる。

小学生女子チーム数の増加、競技レベルの向上、指導者資質の向上等、課題は山積である。

年間小学生女子は9大会実施している。

これは、県協会、審判員、記録員、支部協会の方々のおかげで実施させてもらっているものであり、感謝及び敬意を表するものである。

関係諸機関の皆様からのご指導、ご助言をいただくとともに、保護者の皆様のご理解ご協力を得て、小学生委員会は現在もがんばっているが、小学生女子の希望ある未来に向けて、更なる努力をしていきたい。

女 性 委 員 会

平成18年に発足した女性委員会です。

主な活動として式典、放送が重点の委員会です。

10年間でメンバーが随分変わり、積極的な若手と貫禄あるベテランのバランスが程良く、調和されて和気藹藹と活動しています。

しかしながら、毎回最小限、ギリギリのメンバーのやり繰りは大変で委員の負担も大きいですが、皆の頑張りで乗り越えて来ました。

70周年を迎え、新しい船出となるわけですが、レディース・エルダー・エルデストと登録されているチームの協力も得てさらなるステップアップをしたいと思います。

ソフトボールの楽しさを、次年代の若者に伝えていく橋渡しになるよう努力します。

【平成22年度～令和元年度に携わった主要大会】

平成22年度5月 北信越大学オープン大会
 8月 北信越 国民体育大会
 9月 全日本大学男女大会
 10月 スポレク祭
 23年度8月 全日本中学校男女大会
 全日本総合男子選手権大会
 9月 日本女子リーグ2部大会
 北信越小学生男女大会
 10月 日本男子東日本リーグ大会
 24年度4月 日本女子リーグ1部大会
 5月 全日本大学男女選手権大会
 6月 全国高校総体北信越予選
 7月 全国高校総体女子選手権大会
 8月 全国高校総体男子選手権大会
 10月 中ブロック実年大会
 25年度4月 日本女子リーグ2部大会
 6月 全日本総合男女選手権大会
 7月 全日本実業団男子選手権大会
 9月 全国ろうあ者大会
 10月 日本女子リーグ1部大会
 中ブロック実年大会
 11月 北信越中学校選抜新人大会
 26年度5月 日本男子東日本リーグ大会

6月 北信越高校男女選手権大会
 10月 北信越大学男女選手権大会
 27年度4月 日本女子リーグ2部大会
 7月 北信越大学男女オープン大会
 全日本小学生女子大会
 8月 中日本総合女子選手権大会
 北信越国民体育大会
 9月 日本女子リーグ1部大会
 10月 日本男子東日本リーグ大会
 28年度5月 日本男子東日本リーグ大会
 北信越クラブ男女選手権大会
 7月 全日本クラブ男子選手権大会
 8月 北信越中学校男女大会
 11月 北信越高校男女新人大会
 29年度4月 日本女子リーグ2部大会
 5月 日本男子東日本リーグ大会
 全日本大学男女北信越予選会
 6月 北信越シニア大会
 30年度5月 日本男子東日本リーグ大会
 6月 全日本総合男女北信越予選会
 8月 東日本大学男子選手権大会
 9月 北信越総合男子選手権大会
 11月 ねんりんピック富山2018大会
 北信越中学校選抜大会
 令和元年5月 日本女子リーグ2部大会
 6月 北信越高校総体男女大会
 9月 全日本大学男子選手権大会
 10月 日本女子リーグ1部大会
 日本男子リーグ大会
 北信越大学男女新人大会

【役 員】

委員長 三鍋 恵子

副委員長 増田由美子

笹伊 晴美

委 員 山口まち子 川崎 雅子 森井 葉子

小林 明美 北口 洋子 石黒 千鶴

武田 奈々 笹伊 美佳 井村小百合

麻積 奈月 曾田 朋子 佐藤 ゆき